

60079

教科書文庫

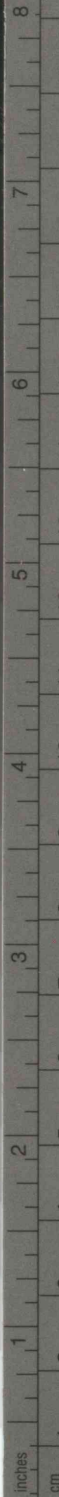
6
760
34-1949
01304
49910



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

© Kodak, 2007 TM: Kodak



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



文部省検定済教科書  
財団法人教育図書研究会編修

11	小音503
学図	

教育部  
資料室

# 私たちの音楽

教科書文庫
6
760
34-1949
0130449910



広島大学図書  
0130449910

学校図書株式会社発行

5



中央図書館

五年生のみなさんへ

この本は 美しい歌・おもしろい曲を集めて じゅんじょよく音楽を学び また 楽しむように作っています。

歌の曲は 外国のすぐれた曲や新しく作曲したものの外に 前からある曲のよいものも 少しとりいれました。

新しい調子の曲がでてきましたが ゆっくり そしてまた たゆまないで読むけいこをいたしましょう。きっと みなさんのためになると思います。もしそれが ひじょうにむずかしいようでしたら 先生の歌にまねて歌うこともできます。

楽器や 作曲などのけいこも だんだんおもしろくなってきましたが これらも いくらかはぶいたり べんきょうのし方をかえたりしても さしつかえないと思います。

ほんとうに楽しくべんきょうして 音楽の美しさがわかるようになってください。

寄 贈

昭和二十四年十月十日

文部省検定済

小学校音楽科用

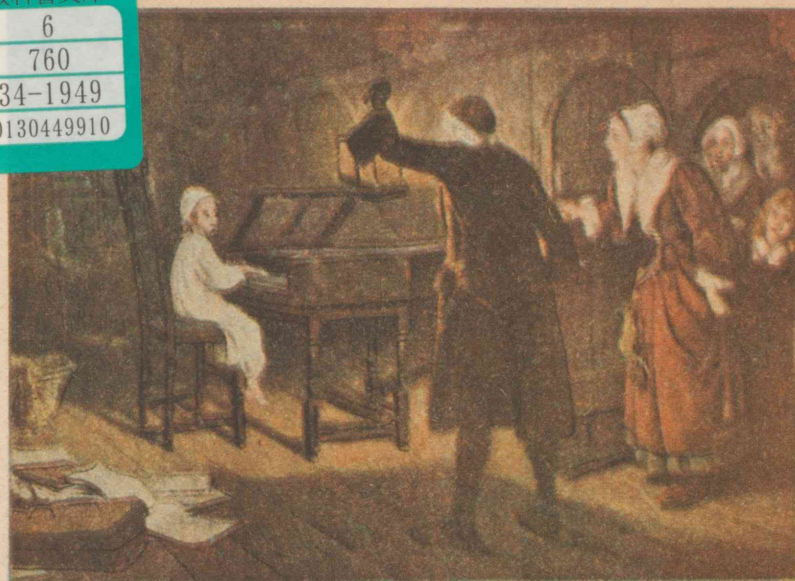
教科書文庫

6

760

34-1949

0130449910



幼時のヘンデル

私たちの音楽

5

広島大学図書

0130449910



広島大学  
教科書

広島大学図書

0130449910



学校図書株式会社

も く

1	春の動物園	5
2	きしべの春	8
3	五 月	9
4	初夏の旅	10
5	まちのしゃしんや	13
6	林 の 道	14
7	ピケのぼうし	18
8	つ ゆ	20
9	海	22
10	月 夜	24
11	まつりばやし	26
12	たのしい運動会	28
13	野ぎくの花	32

ろ く

14	山のぼり	34
15	かくれんぼ	36
16	かりがわたる	38
17	なまけがき	40
18	とうだいもり	44
19	冬 景 色	46
20	ス キ ー	47
21	いなかの冬	50
22	ラッセル車	54
23	野 ば ら	56
24	白 う め	60
25	まちぼうけ	62





楽しい音楽の国へ

# 春の動物園

作詞 深尾須磨子  
作曲 スエーデン民謡

楽しく ♩ = 120

*mf*

一 あかるい はるの ひざしを あびて  
二 はなまき ぞうさん きつねさん やぎさん

どうぶつ たち が うたいま す  
うかれて みんな おどりま す

*f*

コン コン コン キャツ キャツ キャツ ビイ チク チク メエ メエー メエ  
コン コン コン キャツ キャツ キャツ ビイ チク チク メエ メエー メエ

*mf*

うたごえ あわせ おどりま す  
たのしい はるの おどろぶつ すえん

## 春の動物園

一、あかるい春の  
ひざしをあびて  
動物たちが  
歌います。

コン コン コン  
キャツ キャツ キャツ  
ビー チク チク  
メエ メエー メエ  
うたごえあわせ  
おどります。

二、はなまきぞうさん、  
きつねさん、やぎさん、  
うかれてみんな  
おどります。

コン コン、  
キャツ キャツ キャツ  
ビー チク チク  
メエ メエー メエ

楽しい春の  
動物園。

つぎのふしを歌いましょう。  
また歌詞をつけましょう。

*f*

器楽曲  
春の動物園

編曲 山本 栄

♩ = 120

ハモニカ  
(ト長調)  
アコーディオン  
(オルガン)

木 きん

水 ぶえ  
トライアングル

カステネット  
タンブリン

小 だいこ  
大 だいこ  
(シンバル)

ピアノ

きしべの春

作詞 村野四郎  
作曲 フィンランド民謡

快活に ♩ = 92



一 きしべの すみれのはな つもうよ ラララララ  
二 おがわに しーろいくも ゆれるよ ラララララ  
三 ひばりの こえはひびく あおぞら ラララララ



ひら ひら ちようちよのゆめ ララララ ララ  
こころも ひかるよひかる ララララ ララ  
たのしい きしべのはる ララララ ララ

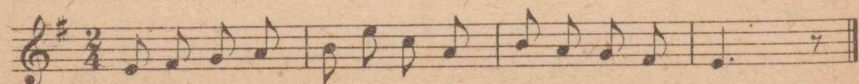
きしべの春

一、きしべのすみれの花、  
つもうよ ラララララ。  
ひらひら、ちようちよのゆめ、  
ララララ ララ。

二、小川に白い雲  
ゆれるよ ラララララ。  
心もひかるよ ひかる  
ララララ ララ。

三、ひばりの声はひびく、  
青空 ラララララ。  
楽しいきしべの春、  
ララララ ララ。

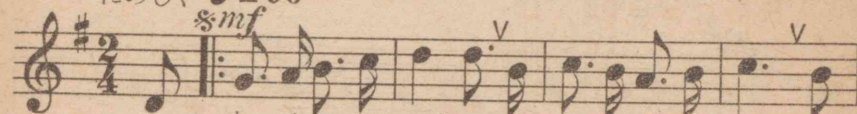
つぎのふしを歌いましょう。また 歌詞をつけたリ りズム楽器  
でがつそうしましょう。



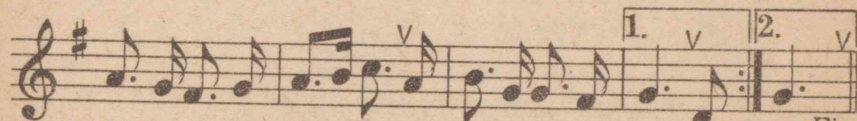
五月

作詞 深尾須磨子  
作曲 フランス曲

たのしく ♩ = 96



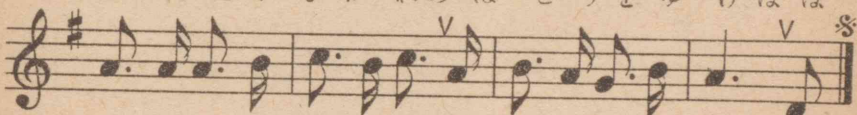
一 い まはごが つよあ かるいと きみ  
二 た のしごか つよあ かるいと きみ



どりが が やーく ひかりのと きいた きき Fine  
どりが が やーく ひかりのと きいた きき



む ぎ ぶ え ふ き つ つ ほ そ み ち ゆ け ば あ は  
は な さ く な が れ の ほ と り を ゆ け ば は



お ぞ ら は る か に な く よ ひ ば り D.S.al Fine  
な か げ う つ し て み ず も う た う た

五月

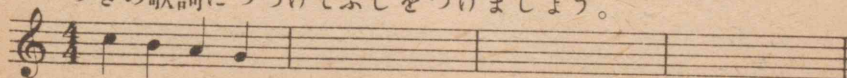
一、今は五月よ、明かるい時。  
緑かがやく 光の時。

二、たのし五月よ、明かるい時。  
緑かがやく 光の時。

青空はるかに  
むぎぶえふきつつ  
ほそ道ゆけば、  
なくよ ひばり。

花さく流れの  
花かげうつして  
水もうたう。

つぎの歌詞につづけてふしをつけましょう。



しずかに しずかに はるのあめ

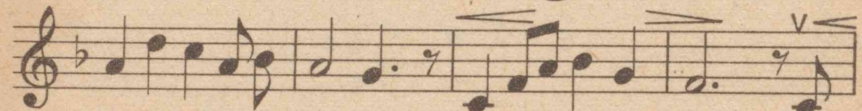
# 初夏の旅

作詞 藪田義雄  
作曲 池 譲

さわやかに ♩ = 120



一 み わ た す か ぎ り の な し ば た け  
二 な わ し ろ た ん ぼ は あ お あ ら し さ  
三 は じ め て み る ま ち と お な ぎ さ



は な が さ い て た そ の な か を お  
さ が と ん で た そ の そ ば を お  
な み が よ せ て た し ら は ま へ お



と う さ ん と お と う さ ん と  
と う さ ん と お と う さ ん と  
と う さ ん と お と う さ ん と



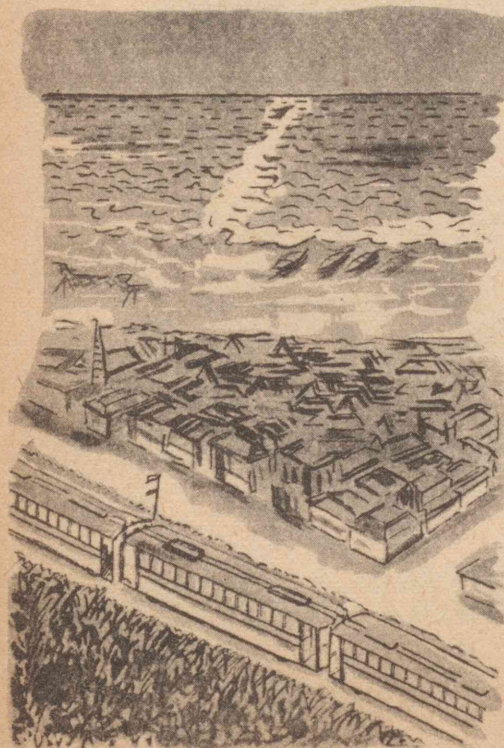
き しゃ で と お っ た た び の あ さ  
き しゃ で と お っ た た び の ひ る  
き しゃ で と お っ た た び の よ



# 初夏の旅

一、見わたすかぎりの なしばたけ、  
花がさいてた その中を、  
おとうさんと、おとうさんと、  
汽車で通った旅の朝。

二、なわしろたんぼは 青あらし、  
さぎがとんでた そのそばを、  
おとうさんと、おとうさんと、  
汽車で通った旅のひる。



三、はじめて見る町、とおなぎさ、  
波がよせてた しらはまへ、  
おとうさんと、おとうさんと、  
汽車で通った旅の夜。

# 変ロ長調

変ロ長調のけいこをしましょう。

変ロ長調は変ロ(ロの半音さがつた音)を はじめの音(第一音)とした音階です。

ハ長調

変ロ長調

調子記号

つぎのふを歌いましょう。

# まちのしゃしんや

作詞 深尾須磨子  
作曲 ドイツ民謡

おもしろく ♩ = 100

まちのしゃしんや

一 私、まちのしゃしんや。いそぎのごようはおてのもの。さあ、さいちまい、パチリと記念のしゃしんをとらせてくださいいな。

二 私は、たびのものです。それこそ何より、よい記念。どうぞ、しゃしんやさん、むこうのけしきも入れてうつしてくださいいな。



# 林の道

作詞 村野四郎

作曲 シューマン

さわやかに ♩ = 54

*mp*

一 さぎりはれゆくか がやくあーさー  
二 そよとふくか ぜわか はのかーげー  
三 たかくよぶこ えあ かるいうーたー

*mf*

サ ラ サ ラ お が わ の う た も た の し ー  
さ え ず る お と り の こ た え も う れ し ー  
わ か ば の お く から か え る こ た ま ー

*mp*

と も と ゆ く み ち は や し の み ち ー  
と も と ゆ く み ち は や し の み ち ー  
と も と ゆ く み ち は や し の み ち ー

# 林の道

一、さぎりはれゆく  
サラサラ小川の  
友とゆく道  
かがやく朝、  
歌もたのし、  
林の道。

二、そよとふく風  
さえずる小鳥の  
友とゆく道  
若葉の影、  
声もうれし、  
林の道。

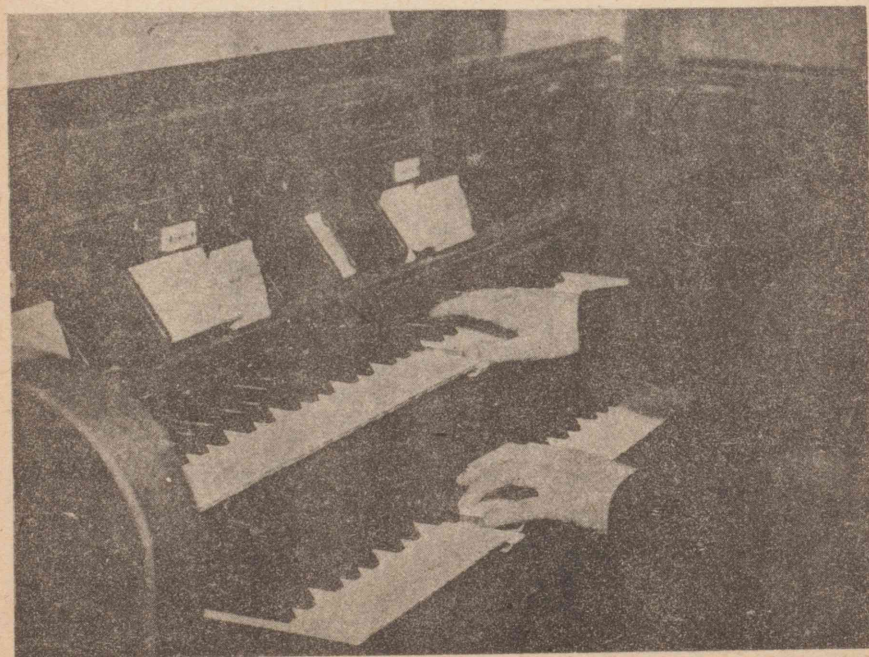
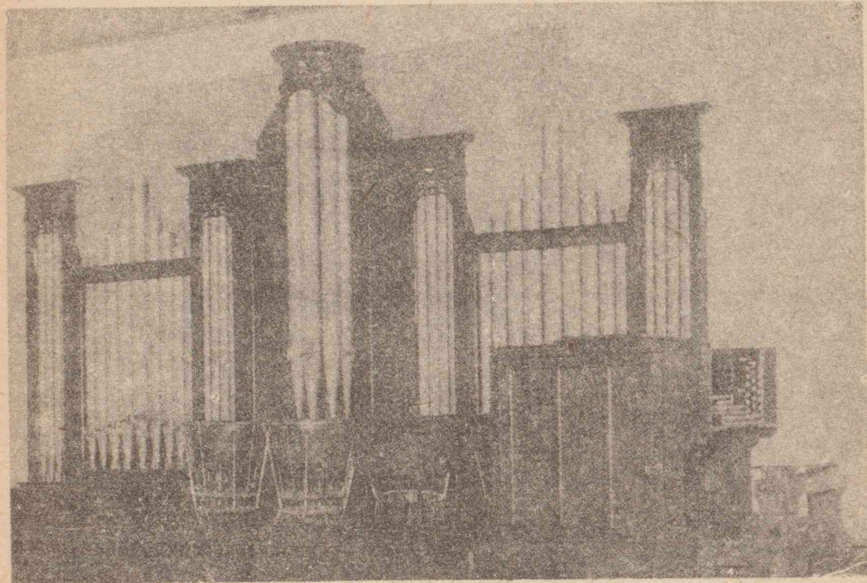
三、たかくよぶ声  
若葉のおくから  
友とゆく道  
明かるい歌、  
かえるこだま、  
林の道。



つぎのふしを歌いましょう。よく歌ってから 歌詞をつけましょう。

♪

♪

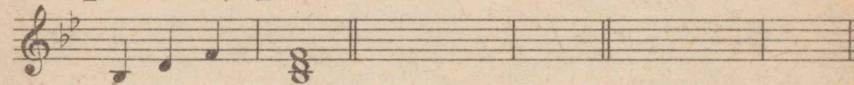


パイプ オルガン

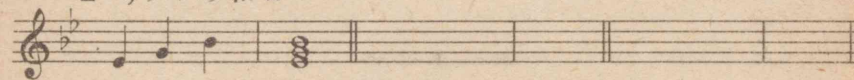
## 和音のれんしゅう (一)

変ロ長調の和音のれんしゅうをしましょう。

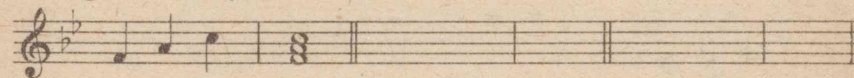
### 1 ドミソの和音



### 2 ファラドの和音



### 3 ソシレの和音



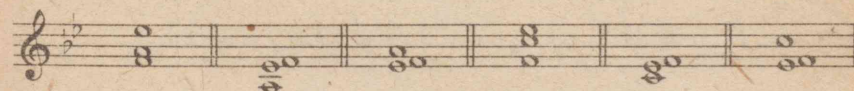
上の三つの和音はそれぞれ一種類しか書きませんが、ほかの二種類の和音を みなさんで書きましょう。

つぎに 新しい和音をおぼえましょう。

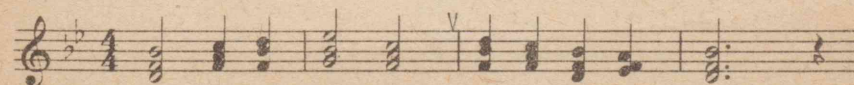
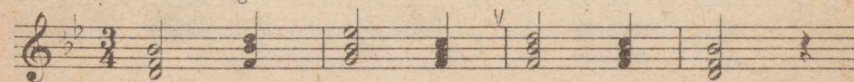
### ソシレファの和音



この和音を三つの音にするのにはレまたはシをはぶきます。  
下の和音は どの音をはぶかれていますか。



つぎの三部合唱曲は どの和音の組み合わせですか。  
歌ったり ひいたりしましょう。また歌詞をつけて歌うと おもしろいでしょう。





つ ゆ

作詞 藪田義雄  
作曲 長谷川良夫

あかるく ♩ = 82

*mf*

あ か い は な は あ か つ ゆ  
あ さ の は つ う つ す よ あ あ か い つ ゆ  
あ つ ゆ は う つ す よ あ あ か い つ ゆ

ろ い は な に は し ろ い つ ゆ  
よ の は つ う つ す よ し ろ の つ ゆ  
ゆ は う つ す よ し ろ の つ ゆ

*p*

そ よ ろ そ か よ か い げ い み な み の か せ に  
みん こ か あ わ いる い つ つ み な かり の か げ け て  
ど こ か あ わ いる い つ つ み な かり の か げ け て

*mf*

つ つ ゆ は は こ こ ろ ろ が が る る は ら り と  
つ つ ゆ は は こ こ ろ ろ が が る る は ら り と

*mf* *rit.*

お ち る は ら り と お ち る  
お ち る は ら り と お ち る

つぎのふしをなだらかに歌ったり、スタカートで歌ったりしましょう。

ハッハッ ハッハッ ハッ ハッ ハッ ハッ ハッ ハッ ハッハッハッ ハッ ハッ  
ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ ホ  
ホッホッホッホッ ホッホッホッホッ ホッホッホッホッホッホッホッ

つ ゆ

一、赤い花には 赤いつゆ、  
白い花には 白いつゆ。  
そよろそよかぜ、南の風に、  
つゆはころがる、はらりと落ちる。

二、朝のつゆには 朝の月、  
夜のつゆには 夜の月。  
みんなかわいい 月かげうけて、  
つゆはころがる、はらりと落ちる。

三、つゆは写すよ、青い空、  
つゆは写すよ、白い雲。  
どこも明かるい、みどりの風に、  
つゆはころがる、はらりと落ちる。

つぎのふしを歌いましょう。また歌詞をつけてみましょう。

つぎの歌詞につづけて ふしをつけましょう。

ほ たる が と ん だ ひ か っ て  
き え て た ん ぼ の ほ う へ に げ た

# 海

作詞 文 部 省  
作曲

静かに ♩ = 84

一 まつばら とおき きゆる ところ  
二 しまやま やみに しるき あたり

しらほの かげは うかぶ  
いさりび ひかり あわし

ほしあみ はまに たかくして  
よるなみ きしに ゆるくして

かもめは ひくく なみにとぶ  
うらかぜ ころく いさごふく

みよひるのうみ みよひるのうみ  
みよよるのうみ みよよるのうみ

海のふしを ふえてふいてみましょう。へ長調の曲ですね。  
へ長調のとき どの音をどんなにすればよいか 考えてみましょう。  
四年の時習ったことを 思い出してください。  
高いふしがよくふけるようになったら 低いふしをふいてくだ  
さい。どちらのふしも よくふけるようになったら お友達どう  
して 二部合そうをしましょう。

# 海

一、まつ原遠く 消ゆるところ、  
白ほのかげは うかぶ。  
ほしあみ はまに 高くして、  
かもめはひくく 波にとぶ。

見よ、 昼の海。  
見よ、 昼の海。

二、島山やみに しるきあたり、  
いさり火光 あわし。  
よる波岸に ゆるくして、  
うら風かるく いさごふく。

見よ、 夜の海。  
見よ、 夜の海。

つぎの輪唱曲を歌いましょう。歌詞をつけて歌うと おもしろいでしょう。

# 月 夜

作詞 片山 颯太郎  
作曲 ドイツ民謡

ほがらかに、かるく ♩ = 108

*mf.*

一 ホン ホン ホン      ホン ホン ホン ホン      ホン  
二 ピョン ピョン ピョン      ピョンピョンピョンピョン      ピョン

*mf.*

ホン ホン      ホン ホコ      ホン ホン      ホン ホコ      ホン ホン  
ピョン ピョン      ピョン ピョピョ      ピョンピョン      ピョンピョピョ      ピョンピョン

*mp*

たぬきの おやこが つきよに うかれて  
うさぎの おやこが つきかげ ふみふみ

*mp*

ホン ホン      ホコ ホンホン      ホン ホン      ホコ ホンホン  
ピョン ピョン      ピョピョピョンピョン      ピョンピョン      ピョピョピョンピョン

*mf*

はらつづみ      ホン ホン ホンホン      ホン  
ひとつどり      ピョンピョンピョンピョン      ピョン

*mf*

ホン ホン      ホンホン      ホンホコ      ホンホコ      ホン      ホンホン      ホンホン      ホン  
ピョンピョン      ピョンピョ      ピョピョピョン      ピョピョ      ピョン      ピョンピョ      ピョピョ      ピョンピョ

## 月 夜

一、ホン、ホン、ホン、  
 ホン、ホン、ホン、ホン、ホン、ホン、  
 たぬきの親子が  
 月夜にうかれてはらつづみ。  
 ホン、ホン、ホン、ホン、ホン、

二、ピョン、ピョン、ピョン、  
 ピョン、ピョン、ピョン、ピョン、ピョン、  
 うさぎの親子が  
 月かげふみふみ      ひとつどり。  
 ピョン、ピョン、ピョン、ピョン、ピョン、

つぎのことがらをさんこうにして リズム楽器の組み合わせを考えましょう。

1. 楽器の音色による組み合わせかた。
2. 拍子やリズムを打つ楽器の組み合わせかた。

組み合わせができれば ピアノかオルガンまたはバイオリンに合わせて 合そうしてみましよう。

# まつりばやし

作詞 藪田義雄  
作曲 長谷川良夫

静かにやさしく  $\text{♩} = 36$

一 まつりばやしのふえのねは  
二 まつりばやしをきくたびに

つきよのかぜにのってくる  
いつでもおもうねんねうた

おおきくおなりよしあわせに  
いいこにおなりよしあわせに

やさしくやさしくうたってる  
ゆりかごゆりゆりうたってる

この曲はどんな感じがしますか。

(イ) にぎやか, (ロ) おもしろい, (ハ) さびしい, (ニ) しずか。

この曲は短音階でできています。短音階は半音のところ  
が長音階とちがいます。長音階とくらべてみましょう。

## まつりばやし

一、まつりばやしのふえの音は、  
月夜の風にのってくる。

大きくおなりよ、

しあわせに、

やさしくやさしくうたってる。

二、まつりばやしをきくたびに、

いつでもおもうねんねうた。

いい子におなりよ、

しあわせに、

ゆりかごゆりゆりうたってる。

つぎのふしを歌いましょう。また歌詞をつけましょう。

つぎの歌詞に つづきのふしを作りましょう。

かなかな ぜみが なきだした

もうあき ですよ あきですと

いそがし そうに なきだした

たのしい運動会

作詞 藪田義雄  
作曲 ワーク

いきいきと ♩ = 112  
mf

一 あ さ から あ お ぞ ら に ほ ん ば れ  
二 い つ で も げ ん き な お と も だ ち

きょうはー うれしいう んどうかい  
みんなが はりきる う んどうかい

ふうせんきょうそう それいそげ  
かりものきょうそう はいごめん

ころんとばせば ひよりかせ つなひきり  
ぼうしにステッキ ちよとかりる なわとびハ

レイレース おあとははちまきとり  
ンドボール おつぎはスブンレイ

プカプカドンドン プカドンドン  
プカプカドンドン プカドンドン

たのしいたのしい う んどうかい  
たのしいたのしい う んどうかい

楽しい運動会

一、朝から青空、日本ばれ、  
きょうはうれしい運動会。  
風船きょうそう それ、いそげ、  
ころんとばせば ひより風。  
つなひき、リレイ・レース、  
おあとははちまきとり。  
プカプカドンドン、プカドンドン、  
楽しい 楽しい 運動会。

二、いつでも元気な お友だち、  
みんながはりきる 運動会。  
かりものきょうそう はい、ごめん。  
ぼうしにステッキ ちよとかりる。  
なわとび、ハンド・ボール、  
おつぎは、スブン・リレイ。  
プカプカドンドン、プカドンドン、  
楽しい 楽しい 運動会。



器 楽 曲

たのしい運動会

いきいきと ♩ = 112

編曲 平岡均之

カ斯塔ネット  
トライアングル

シンバル

小だいこ  
大だいこ

ピアノ

# 野ぎくの花

作詞 深尾須磨子  
作曲 外国曲  
編曲 片山穎太郎

やさしい気持で ♩ = 152

*mp*

一、の、く、よ、の、く、よ。  
二、の、く、よ、の、く、よ。

あ、き、か、ぜ、の、む、す、め、よ。  
あ、お、ぞ、ら、の、む、す、め、よ。

い、す、み、か、の、ほ、と、り、に、む。  
い、す、み、か、の、ほ、と、り、に、む。

み、す、か、が、が、み、す、る、こ、よ。  
み、す、か、が、が、み、す、る、こ、よ。

## 野ぎくの花

一、野ぎくよ、野ぎくよ。

秋風のむすめよ。

いずみのほとりに、

水鏡する子よ。

二、野ぎくよ、野ぎくよ。

青空のむすめよ。

静かにほおえむ、

横顔のその子よ。

つぎのふしを歌いましょう。また歌詞をつけましょう。

# 山のぼり

作詞 村野四郎  
作曲 信時 潔

元気よく ♩ = 100

mp  
一 おおぞら たかく あきかぜ ふくよ  
二 くちぶえ ふいて やまみち ゆけば  
三 みはらし だいに ようやく つけば

mf  
あ ちらの やまも こちらのや まも  
あ ちらの えだに こちらのえ だに  
あ れあれ みえる ほくらのむ ら が

mp  
あ かるい もみじ き れいな もみじ  
ひよどり なくよ ひいよと なくよ  
お おきな こえで そろえて よべば

f mf  
み んなで ゆこう くりのみと りに  
ま のみをおとす おちばのう えに  
ち いさい きしが けむりをあ げて

スタカートは軽く音をきりましょう。  
どうすればじょうずに歌えますか。

つぎのふしをスタカートに注意しながら歌いましょう。

# 山のぼり

一、大空高く 秋風ふくよ、  
あちらの山も、こちらの山も、  
あかるいもみじ、きれいなもみじ、  
みんなてゆこう、くりのみとりに。

二、口ぶえふいて 山道行けば、  
あちらのえだに、こちらのえだに、  
ひよどりなくよ、ひいよとなくよ、  
木のみをおとす、おちばの上に。

三、みはらしだいにようやくつけば、  
あれあれ見える、ぼくらの村が。  
大きな声で そろえてよべば、  
ちいさい汽車がけむりをあげて。

# ウィリアム テル・序曲

(1) 夜あけ ♩ = 54 ロシーニイ曲

後略

(2) あらし ♩ = 108

後略

(3) 静けさ ♩ = 76

後略

(4) マーチ ♩ = 152

後略

曲の感じをよく味いましょう。またどんな楽器ではじまるか  
ききわけましょう。

かくれんぼ

日本わらべうた  
編曲 平岡均之

かっぱつに ♩ = 112

*f*

かくれんぼ するもの よつと いで

じゃんけん ぼんよ

じゃんけん ぼんとだして あいこで しょ

*mf*

もう いい かい たらら まあ だ だ よ  
もう いい かい たらら まあ だ だ よ  
もう いい かい たらら まあ だ だ よ

かくれんぼするもの  
よつといで。  
じゃんけん ぼんよ、  
(じゃんけん ぼんとだして)  
あいこでしょ。  
もういいかい。  
まあだだよ。  
もういいかい。  
まあだだよ。  
もういいかい。

かくれんぼ

作曲のけいこ

ここに一小節のふしがあります。  
これを上や下でくりかえしたり  
音を加えたりして つぎの曲のように 八小節のふしを作ることが出来ます。

もう一つの例

これは二小節のふしです。  
歌詞もつけましょう。

高さをかえて はじめのふしをまねていく方法

おはなが ちるよ つづいて ちるよ  
か ーせに ふかれて ひらひら ひらり

このふしをつづけて 八小節の曲  
を作りましょう。

かりがわたる

作詞 文 部 省  
作曲  
編曲 益子九郎

なごやかに ♩ = 104

*mp*

一 かりが わたる な いて わたる  
二 かりが おりる つ れて おりる

一 かりが わたる な いて わたる  
二 かりが おりる つ れて おりる

な くは なげきか よろこび か  
つ れは おやこか ともだち か

な くは なげきか よろこび か  
つ れは おやこか ともだち か

つ きの さやかな あきのよに  
し もの ましろな あきのたに

つ きの さやかな あきのよに  
し もの ましろな あきのたに

さおになり かぎになり  
むつまじく つれだちて

さおになり かぎになり  
むつまじく つれだち

*p*

わ たる かり おもしろや  
お りる かり おもしろや

*vp*

り わた る かり おもしろや  
て おり る かり おもしろや

かりがわたる

一、かりがわたる。  
ないてわたる。  
なくはなげきか、よろこびか。  
月のさやかな 秋の夜に、  
さおになり、かぎになり、  
わたるかり、おもしろや。

二、かりがおりる。  
つれておりる。  
つれは親子か、友だちか。  
しものま白な 秋の田に、  
むつまじく つれだちて、  
おりるかり、おもしろや。

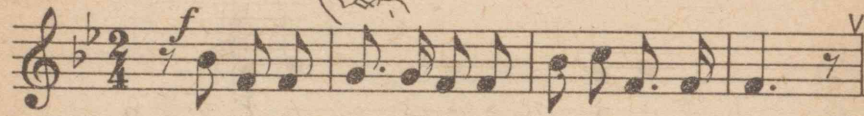
きれいにひびかせて  
歌いましょう。

ナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ  
ナ - - - - -

なまけがき

作詞 北原白秋  
作曲 池 譲

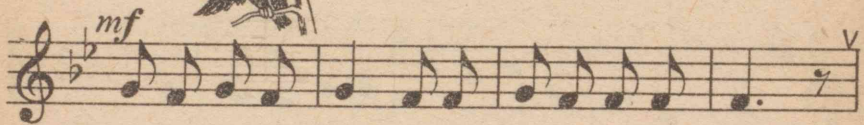
おもしろく ♩ = 96



なるか ならぬか なまけがき



ならぬと このえだ ぶさるぞ



かあかあ ぼんちゃん まあおま ち



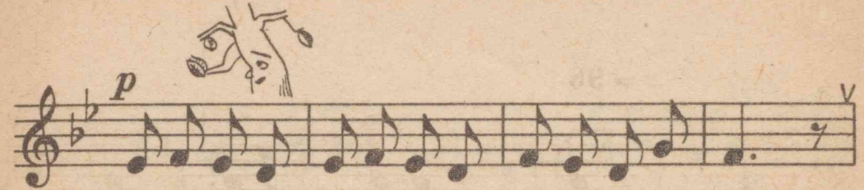
このかき ちいさい まだこども



いやいや こいつは もうおと な



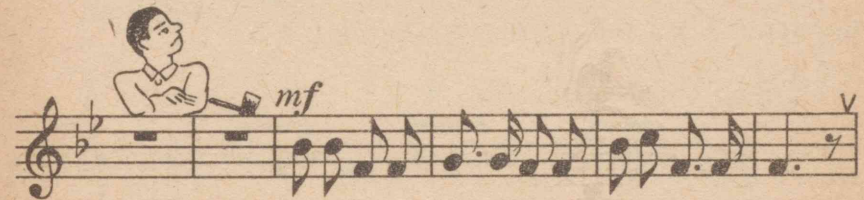
きねんも だました なまけがき



なります なります こんどから



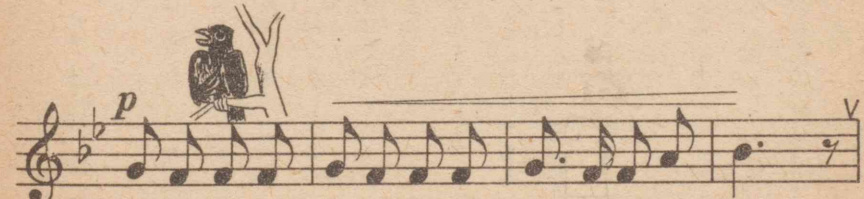
ことは どっさり すすなりに



よしよし そんなら きつとなれ



だますと いろいろに もしちまうぞ



よいこだ よいこだ よくきいた



かあかあ かきのき なまけるな



はいはい ぼっちゃん ありがとう



からすのおばさん ありがとうよ

ひょうし  
拍子打ちにリズムを入れた組み合わせ方をしてみましょう。  
たとえば「ぼうや」のとき



のようにするとよいと思います。「かき」「からす」の打ち方も考えましょう。

〔ぼうや〕なるか、ならぬか、なまげがき  
ならぬと、このえだ ぶつきるぞ。  
〔からす〕かあかあ ぼっちゃん、まあ お待ち、  
このかき 小さい、まだ子ども。  
〔ぼうや〕いやいや、こいつは もうおとな、  
去年もだました、なまげがき。  
〔かき〕なりません、なりません、今度から  
ことしはどつさり、すずなりに。  
〔ぼうや〕よしよし、そんなら きつとなれ、  
だますと、いりりにもしちまうぞ。  
〔からす〕よい子だ、よい子だ、よくきいた。  
かあかあ かきの木 なまけるな。  
〔かき〕はいはい、ぼっちゃん ありがとう。  
からすのおばさん ありがとうよ。

## バッハ

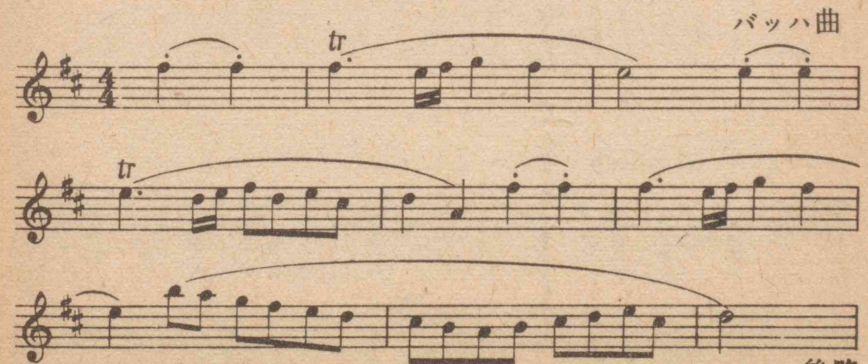


バッハは1685年にドイツで生まれた音楽家です。

バッハは「音楽の父」といわれるほどの人で 音楽家はだれでもバッハの曲を研究します。

1750年になくなりました。バッハの音楽をきいたことがありますか。バッハの一生とその作品とをしらべてみましょう。

## ミュゼット



バッハ曲

後略

とうだいもり

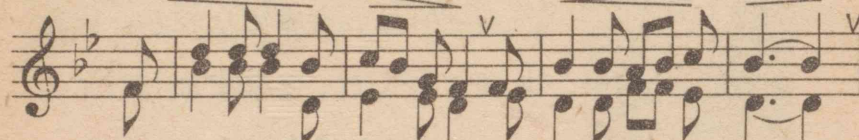
作詞 勝 承 夫

作曲 イギリス曲

気持をこめて ♩ = 46



一 おれる つき-かげ そらにさ-え て -  
二 はげしき あ め-かせ き たのう-みに -



ま ふゆの あら-なみよ するお-じ ま -  
や まなす あら-なみ た けりく-る う -



お もえよ と う だ い ま も る ひ - と の -  
そ の よ も と う だ い ま も る ひ - と の -



と う と き や さ - し き あ い の こ - こ ろ -  
と う と き ま こ - と よ う み を て - ら す -

つぎの二部合唱曲をうたいましょう。



とうだいもり

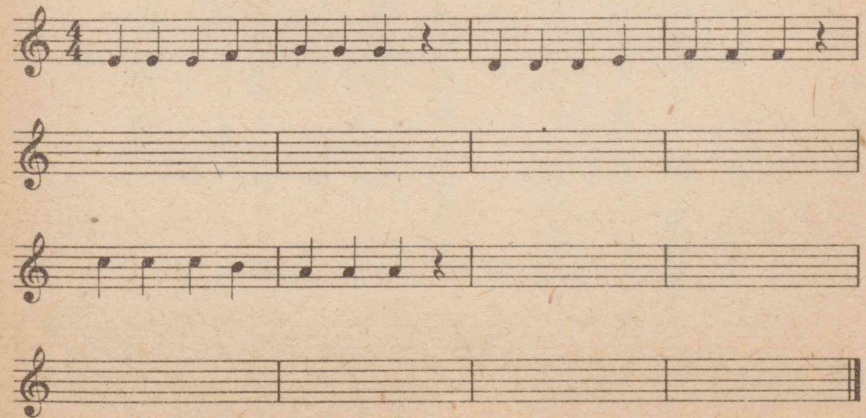
一、おれる月かげ 空にさえて、  
ま冬のあら波 よする小島。  
思えよ、とうだい まもる人の  
とうときやさしき愛の心。

二、はげしき雨風 北の海に、

山なすあら波 たけりくるう。  
その夜も、とうだい まもる人の  
とうとき誠よ、海をてらす。

「とうだいもり」の各だんのふしを くらべてみましょう。  
どのだんと どのだんが にていますか。また ちがっていますか。

これを参考にして つぎのふしのたりない音を入れましょう。





# 冬景色

作詩 文 部 省  
作曲

静かに ♩ = 100

静かに ♩ = 100

*mf*

一 さ ぎ り き ゆ る み な と え の  
二 か ら す な き て き な た か く

ふ ね に は し は ろ し に あ ぎ の し も  
ひ と は は た に む ぎ を ふ む

*mp* *mf*

た げ た に み す と り の こ の え は し て や  
に こ は る び の こ の ど け し

*mp*

い か ま え だ り さ ぎ め す き は し の い え  
か え だ り さ ぎ め す き は し の い え

冬景色

一、さざり消ゆるみなとえの  
船に白し 朝のしも。  
ただ水鳥の 声はして、  
いまださめず 岸の家。

二、  
からすなきて 木に高く  
人は畑に 麦をふむ。  
げに小春日の のどけしや、  
かえりさぎの 花も見ゆ。

つぎのふしを歌いましょう。

パ パ パ パ パ パ パ  
リ リ リ リ リ リ リ

# スキ

作詞 時 雨 音 羽  
作曲 平 井 保 喜  
初等科音楽より

軽快に ♩ = 120

軽快に ♩ = 120

*mf*

一 や ま は し ろ が ね あ さ ひ を あ ひ て  
二 ま い ち し ろ ん が ね あ さ ひ を あ ひ て  
三 か せ を つ ん ぎ ひ だ り へ み ぎ へ

*mp*

す さ と べ つ べ と ば ス キ の す ば か ひ な せ ち ょ う れ る は つ や ば さ さん  
と ぐ そ 一 ふ ん は と こ せ み ゆ ま ど き り り か は ま い た つ か た り か  
一 一 ら は と こ せ み ゆ ま ど き り り か は ま い た つ か た り か

*f* *mp*

お お お 三、風をつんざき、左へ、右へ、  
お お お 飛べば、おどれば、流れるしやめん。  
お、お、お、あのおか われらを招く。

スキ

一、山はしろがね、朝日を浴びて、  
すべるスキーの 風切る速さ。  
とぶは粉雪か まいたつきりか、  
お、お、お、この身もかけるよ、かける。

二、真一文字に 身をおどらせて、  
さつと飛びこす、飛鳥のつばさ。  
ぐんとせまるは、ふもとか、谷か、  
お、お、お、たのしや、手練のひやく。

器楽曲  
スキ

軽快に ♩ = 120 編曲 山本 栄

(ハモニカ・ふえ) (ハモニカ・鉄きん)

ハモニカ  
ふえ  
鉄きん

木きん

トライアングル  
カスタネット

シンバル  
タンブリン

小だいこ  
大だいこ

ピアノ

(ハモニカ・ふえ) (ハモニカ・鉄きん)

(ハモニカ・ふえ・鉄きん) (ハモニカ)

(ハモニカ・ふえ・鉄きん)

# いなかの冬

作詞 不 明  
作曲 島崎赤太郎  
新尋常小学唱歌より

おちついて ♩ = 60

*mf*

一 ましろにおくしもみねのゆき  
二 ひなたにつづるはふるごもり  
三 いろりにほたたくゆうけむり

*mf*

しすかにさめくるむらのあさと  
のきにはたるひのとくるる  
かれのにかぜたちひのくるる

*f*

ほういはい ほういはい いらすずめ  
ほういはい ほういはい かんがらすり  
ほういはい ほういはい わたりどり

*f*

かりたのかかしにひのひかり  
かどべのえだにはかきふたつ  
ちんじゆのはやしにやどかさ

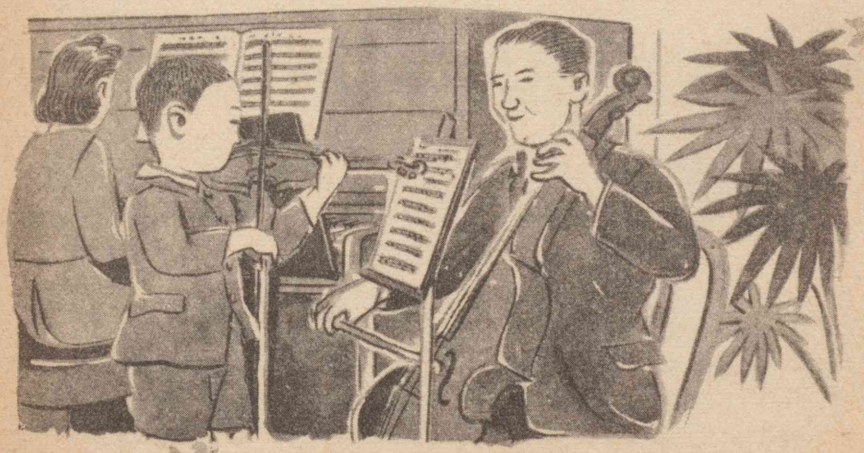
つぎのふしを歌いましょう。また歌詞をつけましょう。

♪

♪

# いなかの冬

- 一、真白におくしも、みねの雪、しすかにさめくる 村の朝、ほういはい、ほういはい、むらすずめ、かりたのかかしに 日の光。
- 二、ひなたにつづるは 古ごろも、のきにはたるひの とくる音、ほういはい、ほういはい、かんがらす、かどべのえだには かき一つ。
- 三、いろりにほたたく、夕けむり、かれ野に風立ち、日のくるる、ほういはい、ほういはい、わたりどり、ちんじゆの林に やどかさ。



ピアノ三重そう

ピアノ三重そうの曲をききましょう。  
楽器の音色をききわけましょう。

## ニ長調

新しくニ長調のけいこをしましょう。

ト長調とニ長調のひかく

つぎのふしを歌いましょう。

## 和音のれんしゅう (二)

ニ長調の和音のれんしゅうをしましょう。  
三つの和音をみなさんで書きましょう。

つぎの三部合唱曲は どの和音の組み合わせですか。歌ったり ひいたり しましょう。また歌詞をつけて歌いましょう。

つぎの二部合唱曲では 各和音が二声になっています。どの和音かわかりますか。歌ってみましょう。

# ラッセル車

作詞 堀内敬三  
作曲 ロシア曲  
編曲 片山頼太郎

かるく ♩ = 104

一とびちる ゆきやま せんろの さゆう  
二うずまく ゆきかせ かぎりも しらず

く だ け て ま い た つ こ ゆ き の あ ら し  
い ち め ん か が や く の や ま の は て へ

ゴウ ゴウ きょう も じょう き を ふ い て  
ゴウ ゴウ つ よ く さ け び を あ げ て

つ き す す む ラッセルしゃは ま え へ  
つ き す す む ラッセルしゃは ま え へ

つぎの二部合唱曲を歌いましょう。またハミングで歌ったり 歌詞をつけたりしましょう。

# ラッセル車

一、とびちる雪山 線路の左右  
くだけてまいたつ 粉雪のあらし  
ゴウゴウ きょうも じょうきをふいて  
つきすすむ ラッセル車は 前へ。

二、うずまく雪風 かぎりも知らず、  
いちめんかがやく 野山のはてへ。  
ゴウゴウ強く さけびをあげて、  
つきすすむ ラッセル車は 前へ。

「ラッセル車」の曲を一音下げて（ハ長調）器楽の合奏をしましょう。そのしかたを はじめの一だんだけかきますから あとをくふうしてください。

ふ え  
ハモニカ

ホ きん

トライアングル  
カスタネット

タンブリン  
小だいこ

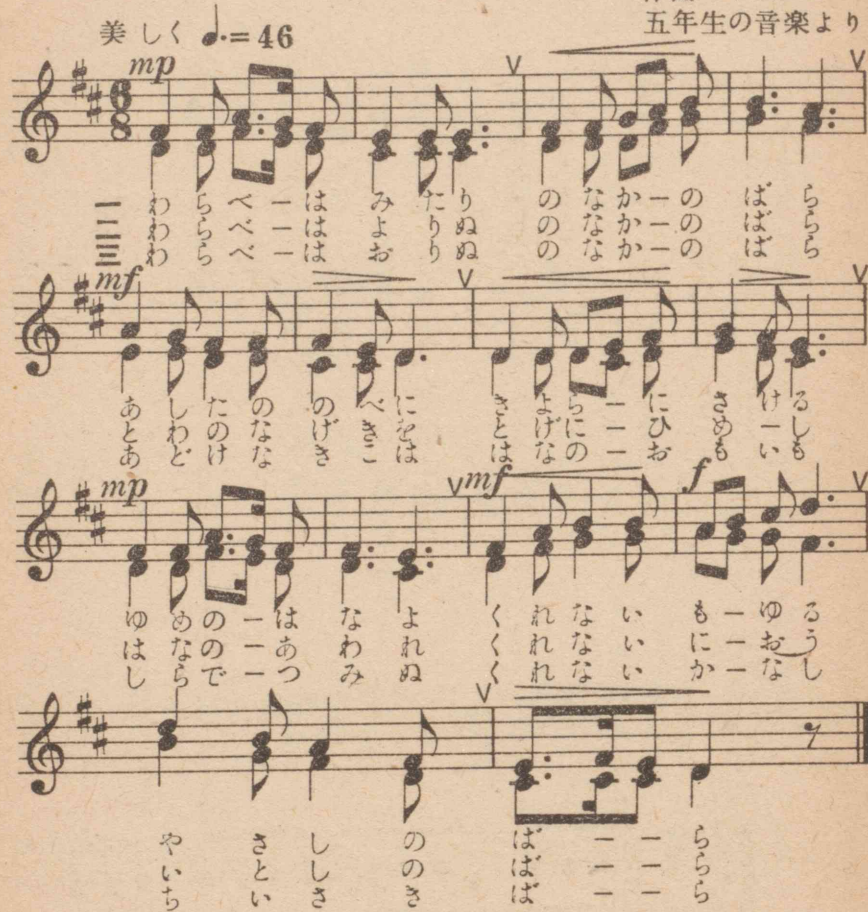
大だいこ

なお これらに カスタネットや大だいこをくわえると よいでしょう。

# 野ばら

作詞 勝承夫  
作曲 ウェルナー  
五年生の音楽より

美しく ♩ = 46  
mp



わらべはよりぬ、野中のばら。  
あしたの野べに、きよらにさける  
ゆめの花よ。くれなゐもゆる、  
やさしのばら。

つぎの二部合唱をうたいましょう。またハミングで歌ったり  
歌詞をつけましょう。



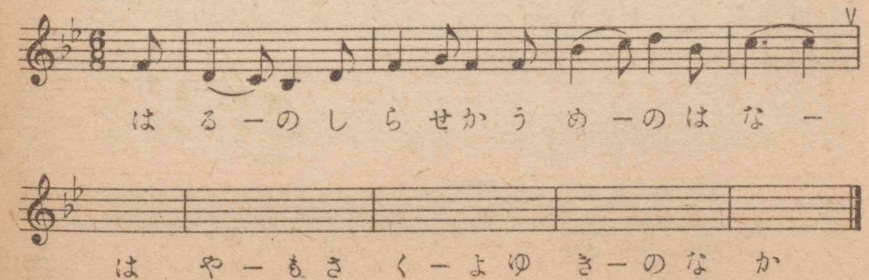
はるのしらせかうめのはな  
はやもさくよゆきのなか

# 野ばら

- 一、わらべは見たり、野中のばら。  
あしたの野べに、きよらにさける  
ゆめの花よ。くれなゐもゆる、  
やさしのばら。
- 二、わらべはよりぬ、野中のばら。  
とわのなげきを とげにひめし  
花のあわれ。くれなゐにおう  
いとしのばら。
- 三、わらべはおりぬ、野中のばら。  
あどけなき子は、花の思いも  
知らでつみぬ。くれなゐかなし、  
小さきばら。

ふしは 波のように上下して まとまっています。その波の一番  
高いところを 曲の「山」といいます。曲の「山」は たいてい一つで  
すが少し長い曲には二つ またはそれ以上もあることがあります。  
「野ばら」の「山」はどこですか。

つぎの歌詞につづきのふしを作りましょう。



はるのしらせかうめのはな  
はやもさくよゆきのなか

## ヘンデル



ヘンデルは バッハと同じ年に同じドイツに生まれました。

28才の時 イギリスにいて、そこで音楽のしごとをして、たいそうりっぱな曲をたくさん作りました。なくなったのは1759年です。下にあるふしは

ヘンデルの有名な歌の一節です。

みなさんは ヘンデルの曲をきいたことがありますか。

ヘンデルの作品をしらべましょう。また その伝記をしらべましょう。

## ラルゴ

ヘンデル曲

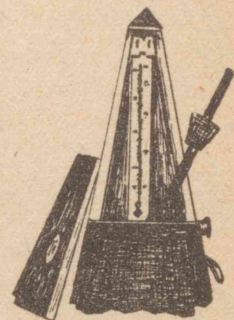


後略

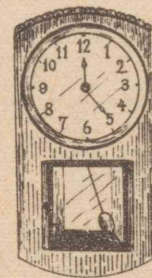
## 速度

曲の速さは 曲のはじめに ♩=60 のようにかいてあらわします。  
♩=60 (一分間に ♩ を 60 の速さで)

速さを知るのには 右の図のようなきかい(メトロノーム)をつかいます。メトロノームのない時は私たちの脈のはやさ 時計のカチカチとうつ音 又は石などをつるした糸をふることなどで知ることができます。



78-90位



120-132位

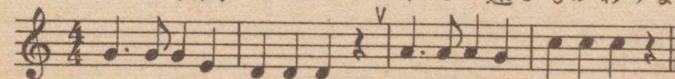


糸の長さ1m.  
60

これらをしらべて速さを知りましょう。

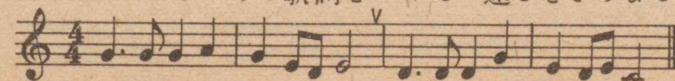
曲の速さは 歌詞や曲の内容などからきまります。

つぎのふしは 歌詞がかわるにつれて 速さもかわります。



(♩=160) あしなみ そろえ げんきにはしれ  
(♩=108) すずかぜ こかぜ そよそよ ふけよ  
(♩=88) ねむれよ ねむれ すやすや ねむれ

つぎのふしに いろいろの歌詞をつけて 速さをきめましょう。



白うめ

作詞 壺田花子  
作曲 コンバース

おもいをこめて ♩ = 76

*mp*

一 きよらのすが たは たぐいもあらず  
二 こえだのつぼみ は かげにもめげず

*v p*

か おりぞゆか しき しらうめのは な  
ち かつくはる ひを よろこびてさ く

*mp* *mf*

な がれのほとりに ほ おえみかわし  
か がやきみちみつ みどりのそらに

*mp* *vp*

さむさをしの い で さきがけてさ く  
しんじゅのはな びら ちりばめなが ら


小えだのつぼみは 風にもめげず、  
ちかづく春日を よろこびてさく。  
かがやきみちみつ みどりの空に、  
しんじゅの花びら ちりばめながら。

二

きよらのすがたは たぐいもあらず、  
かおりぞゆかきき 白うめの花。  
流れのほとりに ほ おえみかわし、  
寒さをしのいで さきがけてさく。

白うめ

ふしはピアノかオルガン またはアコーディオン・木きん（半音つきのもの）を使つてひきましょう。

リズム楽器は  を中心とした組み合わせをしてみましよう。それに音色のかわった楽器を一・二種使つて 別のリズムを打たせて、おもしろい合奏をくふうしましょう。







ホルン



チューバ

小音 503

私たちの音楽 5

Approved by Ministry of Education  
(Date Oct. 22, 1949)

本書を編修するに当つては、下記の諸先生に一方ならぬ御指導とお力添えをいただきました。厚く感謝申し上げます。

芸術院会員	信時 潔	東京都江古田小学校長	中野義見
東京音楽学校教授	片山穎太郎	東京都早稲田小学校教諭	平岡均之
詩人	藪田義雄	東京都小川小学校教諭	山本 栄

編者 東京都文京区大塚窪町 24 東京高等師範学校附属小学校内  
財団法人 教育図書研究会  
理事長 東京高等師範学校教授 佐藤保太郎  
担当編修者 東京高等師範学校教諭 川本久雄  
小林つや江雄  
大槻定雄  
鈴木壽雄

表紙とさしえ

昭和 24. 7. 18. 印刷	昭和 24. 10. 22. 再版印刷
昭和 24. 7. 22. 発行	昭和 24. 10. 26. 再版発行
著者 財団法人 教育図書研究会 会長 務台理作	
発行者 学校図書株式会社 代表者 川口芳太郎	〒
印刷者 図書印刷株式会社 代表者 川口芳太郎	
発行所 東京都港区芝三田豊岡町 8	学校図書株式会社

さくいん

読ふ 5 8 12 15 17 19 23 発声・発音 12 19 20 22 23  
27 33 34 44 50 52 53 発想 等 34 39 46 54 56  
54 56 63

作詞 5 8 15 17 21 23 27 33 作曲 9 21 27 37 45  
50 52 53 54 56 59 57 63

楽典

音階	和音	その他
変ロ長調 12	変ロ長調 17	弱起・強起 13
ニ長調 52	ニ長調 53	曲の形式 45
		曲の山 57
		速度 59

器楽

合そう曲	リズム	編曲くふう	ふえのえんそう
春の動物園	合そう 6 8	25 42	22
たのしい運動会	30	55 61	
スキー	48		

かんしょう

短音階 26 ウィリアムテル・序曲 35 ミュゼット 43 ラルゴー 58

音楽家伝記

バッハ 43 ヘンデル 58

しき法 63

え ヘンデルの幼時 1 鼓笛隊行進 2 3 たのしい音楽の国へ 4  
さしえ 11 15 ピアノ三重そう 51 ホルンとチューバ 64  
しゃん パイプ オルガン 16

Copyright 1949, by  
The Kyōiku Toshō Kenkyukai

*All rights reserved.*

The text of this publication or any part thereof  
may not be reproduced in any manner whatsoever  
without permission in writing from the authors



なまえ	
	五年
	組

広島大学図書

0130449910

